



## 食道アカラシアにおける内視鏡所見と経口内視鏡的筋層切開術（POEM）の治療成績に関する遡及的解析

2018年10月1日から2023年12月31日までに日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科にて食道アカラシアに対して経口内視鏡的筋層切開術を受けられた患者さん。

### 研究協力をお願い

当科では「食道アカラシアにおける内視鏡所見と経口内視鏡的筋層切開術（POEM）の治療成績に関する遡及的解析」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2018年10月1日から2023年12月31日までに日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科にて食道アカラシアに対して経口内視鏡的筋層切開術（POEM）を受けられた患者さんの内視鏡検査と治療成績を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### （1）研究の概要について

研究課題名：食道アカラシアにおける内視鏡所見と経口内視鏡的筋層切開術（POEM）の治療成績に関する遡及的解析  
研究期間：研究実施許可日から2024年9月30日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科 准教授 後藤 修

### （2）研究の意義、目的について

本研究の目的は、当院で食道アカラシアに対して行われた経口内視鏡的筋層切開術（POEM）の治療成績と内視鏡所見を解析し、その関連性を検討することです。食道アカラシアに特徴的な内視鏡所見と治療効果や治療時間、切開した筋層の長さ、有害事象などを併せて評価します。食道アカラシアにおける内視鏡所見と治療効果の関連性が研究によって示されれば、事前に経口内視鏡的筋層切開術（POEM）の効果が乏しい症例を予測できるようになることが期待されます。また、その結果、治療効果があまり期待できない場合には他の治療法を検討するなど治療選択のための情報を提供できる可能性があるという点で有意義であると考えられます。

### （3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2018年10月1日から2023年12月31日までに日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科にて食道アカラシアに対して経口内視鏡的筋層切開術（POEM）を受けられた患者さんの治療成績を診療録の情報から抽出して評価します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、疾患情報、内視鏡所見、食道内圧検査所見、食道造影検査所見、症状スコア（治療前と治療後にアンケートにより算出している Eckardt score（食道アカラシアの症状を一般的に評価するスコア））、手術記録、術後経過など

### （4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### （5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### （6）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科 准教授 後藤 修  
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5  
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6725  
メールアドレス：o-goto@nms.ac.jp